

【各国議会】 日本関係情報

【アメリカ】ノーマン・ミネタ氏を顕彰するスミス下院議員の所見

2016年4月12日、アダム・スミス（Adam Smith）下院議員（民主党、ワシントン第9選挙区）は「トモダチ賞（Tomodachi Award）の受賞者ノーマン・ミネタ氏（Norman Mineta）を顕彰する」と題する所見（Extensions of Remarks）を連邦議会議事録に掲載した。この所見でスミス議員は、ミネタ氏がワシントン州日本文化会館（Japanese Cultural and Community Center of Washington）のトモダチ賞を受賞したことについて顕彰し、また同氏のこれまでの経歴を振り返りながら、日系米国人社会の発展や日米関係の強化などに関する同氏の功績を称讃している。まず同氏がカリフォルニア州サンノゼ市（San Jose, California）の市長（1971年から1974年まで）を務めたことに関しては、「米国の大都市においては初となるアジア系米国人市長」であったと評している。次に1975年から1995年まで務めた下院議員（民主党、カリフォルニア第13選挙区及び第15選挙区）としての功績に関しては、同氏がアジア・太平洋諸島系米国人コーカス（Congressional Asian Pacific American Caucus: CAPAC）の共同創設者であったこと（ここでの「コーカス」は連邦議会における議員連盟のこと）、及び第二次世界大戦時の日系米国人の扱いに関する米国政府の公式謝罪を定めた1988年市民自由法（Civil Liberties Act of 1988）の成立に向けて同氏が推進役を担ったことを紹介している。そして同氏がクリントン政権で商務長官（2000年から2001年まで）、続くブッシュ政権で運輸長官（2001年から2007年まで）を務めたことにも触れ、「閣僚を務めた初のアジア系米国人」となったことだけでなく、「民主党政権と共和党政権の双方で閣僚を務めた数少ない人物」となったことを称讃している。また運輸長官時代の功績としては、2001年9月11日の米国同時多発テロ事件に対する取組について強調し、事件後の混乱にもかかわらず同氏が米国市民の安全を確保するために全ての民間航空機を着陸させるという前例なき決断を行ったこと、運輸保安局（Transportation Security Administration: TSA）の創設に関して同氏が中心的な提案者となったこと、中東出身及びイスラム教徒の乗客に対する過剰な人物調査や検査に同氏が強く反対したことを紹介している。

・ <https://www.gpo.gov/fdsys/pkg/CREC-2016-04-12/pdf/CREC-2016-04-12-pt1-PgE405-5.pdf#page=1>

【アメリカ】オバマ大統領の広島訪問を求めるタカノ下院議員の議会演説

2016年4月21日、マーク・タカノ（Mark Takano）下院議員（民主党、カリフォルニア第41選挙区）は下院本会議で「オバマ大統領は日本の広島を訪問するべきである」と題する演説を行い、以下のように論じてオバマ大統領に広島への訪問を促した。

「オバマ大統領が日本の広島を訪問する初の現職大統領となることを私は今日この場で促したい。広島への訪問は米国民を代弁して謝罪することを意味する訳ではない。それは世界最大の核兵器保有国の最高指揮官が自国の核兵器の能力を認識する姿勢を示すことを意味するのであり、また他の各国指導者に対して範を示すことを意味するのである。私自身が広島原爆の恐ろしさを本当の意味で理解したのは、2002年に初めて広島を訪問した際のことである。核兵器による破壊に対して個人的かつ持続的な思い入れを抱くようになったのもこれ以降である。核兵器を使用する能力を持つ各国の指導者は私と同じように広島訪問を体験するべきであり、また私と同じような思い入れを持つべきである。米国の最大の強みの一つは範を示して他国を先導する能力である。大統領はこの能力を用いて、広

島へと「関心を向けつつ」、核兵器から遠ざけるよう、世界を導くべきである」。(全文)
〔 〕は筆者による補足。

・ <https://www.gpo.gov/fdsys/pkg/CREC-2016-04-21/pdf/CREC-2016-04-21-pt1-PgH1899-8.pdf#page=1>

【韓国】第1回日韓議会未来対話の開催

2016年5月17日、衆議院第1議員会館で第1回日韓議会未来対話が開催され、両国の議員が「日韓関係及び北東アジア協力」と「少子高齢化への対応」について意見を交換した。両国議長がそれぞれ行った基調演説で、大島理森衆議院議長は「相手国の政策を学び合い、両国関係発展の礎石となることを期待する。未来志向的な姿勢で両国が緊密に協力すべきである」と述べ、この会議に出席するため訪日した鄭義和（チョン・ウィファ）国会議長（当時）は「韓国と日本の議会の指導者が一堂に会して両国の未来と協力、東アジアの繁栄と発展について論議するようになったことは非常に意味が大きい」と評価し、①未来志向の姿勢により障害を克服して関係発展を図り、②グローバルに協力するネットワーク的観点を持ち、③政治、安全保障に限らず、文化、環境、防災、ITなど、多様な分野で積極的に協力を進めることを提案した。

・ <http://www.assembly.go.kr/assm/memact/chairman/chairman02/chrMov/chrMovView.do?boarditemid=1100384543&no=1101>

【韓国】オバマ米大統領の広島訪問に対する反応

2016年5月10日、日本の外務省はオバマ米大統領が5月27日に広島を訪問すると発表した。この訪問について、韓国原爆被害者協会は5月12日、①オバマ大統領が広島平和記念公園の韓国人慰霊碑の前で謝罪し、②日米両政府が韓国人被爆者に対する謝罪と賠償を行い、③侵略戦争と植民地支配に対する責任を回避しようとする安倍政権の意図に利用されないよう求める「オバマ米大統領に送る書簡」を発表した。

韓国外交部は5月12日のブリーフィングにおいて、韓国人慰霊碑訪問についての立場を問う質問に対し、「(米国政府は) 今回の訪問について、韓国人原爆被害者を含むあらゆる犠牲者を哀悼しようとする意味があると我々に説明している。(韓国人慰霊碑訪問について) 協議を通じ、米国側に我々の関心を伝えている」と述べた。

5月27日、広島を訪問したオバマ大統領は、韓国人慰霊碑は訪ねなかったが、演説において、「10万人を超える日本人の男女そして子どもたち、何千人もの朝鮮半島出身の人々、12人の米国人捕虜など、亡くなった方々を悼む」と述べた。

これに対し、最大野党の共に民主党は同日のブリーフィングにおいて、広島訪問を「非常に意味のあること」と評価したが、韓国人の犠牲に言及しながら韓国人慰霊碑を訪れなかったことに遺憾の意を示し、「今回の訪問が日本の戦争犯罪に対して免罪符を与えるものではないという点は明白だ」と述べた。また、5月19日に本会議で可決された「韓国人原子爆弾被害者支援のための特別法」(本誌268-1号(2016年7月)pp.34-35参照)に言及し、今後、被爆二世に対する実態調査と支援等の実現に努力する旨表明し、政府に被爆二世に対する関心と支援を強く求めた。

・ <http://www.mofa.go.kr/news/briefing/index.jsp> 及び http://npad.kr/briefingDetail.do?bd_seq=53676

【中国】オバマ大統領の広島訪問

2016年5月26日の定例記者会見において、中国外務省の華春瑩報道官は、アメリカの外国の立法(2016.7)

オバマ大統領の広島訪問について次のようにコメントした。

「日本軍国主義の発動した侵略戦争が、アジアの被害国の人々に深刻な災難をもたらし、広島、長崎を含む日本の人々も大きな被害を受けたということを、我々は忘れてはならない。第二次世界大戦の終結から 70 年以上経過した今日、戦争責任について真剣に反省し、歴史の教訓を正確にくみ取り、第二次世界大戦の勝利の成果を守っていかなければならない。このような基礎の上においてこそ、戦争の加害国と被害国は真の和解を実現することができる。我々は、日本が日本人と国際社会に対する責任を負うという姿勢を保ち、確実に歴史を鑑とし、戦争の悲劇を二度と繰り返さないよう望んでいる。」

また、5月27日、中国の王毅外相は次のようにコメントした。

「広島には関心を持つべきだが、南京はもっと忘れてはならない。被害者には同情すべきだが、加害者は永遠にその責任から逃れることはできない。」

・ http://www.fmprc.gov.cn/web/wjdt_674879/fyrbt_674889/t1366883.shtml

・ http://www.fmprc.gov.cn/web/wjzbz_673089/zyhd_673091/t1367129.shtml